

## 令和6年度 事業計画

我が国の国土は、地形が急峻かつ地質が脆弱であることに加え、近年の気候変動の影響等により、短時間豪雨や線状降水帯の発生による長時間の集中豪雨や地震・火山活動などにより、全国各地で甚大な山地災害や林道被害が発生している。

昨年も、集中豪雨や相次ぐ台風の襲来により大規模な災害が頻発した。

地球温暖化の影響による豪雨や南海トラフ地震等による津波発生の危険度も高く、大規模災害が発生するリスクは依然として高い状況となっており、森林の災害防止機能をより一層高度に発揮させることが求められる。

また、スギ花粉症対策として、スギ林の適正な整備による花粉発生源対策やスギ材の搬出や利用の促進に必要となる林道整備も必要となる。

このような状況を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現するため、災害復旧対策はもとより、事前防災・減災を目的とした災害に強い森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していく必要がある。

あわせて、カーボンニュートラルやGX（グリーントランスフォーメーション）、地方創生の実現に向けた森林吸収源対策を確実に推進することが重要である。

一方、建設業界は、技術者や就業者数が減少傾向にあると同時に他の産業と比較しても高齢化の進行が早く、2024年4月から始まる時間外労働の罰則付き規制への対応に加え、労働者の賃金の引き上げや物価上昇に伴う資材高騰への対応が喫緊の課題となっている。

これらの課題を解決し、地域経済の活性化を図るためには、企業の安定的な経営と工事の品質の確保に必要な事業量と予算を確保するとともに、適正な利潤が確保されることが必要不可欠となる。

これらの現状を踏まえ、林土連では、昨年に引続き林野公共事業の推進を通じて国民の安全・安心の確保に貢献するとともに、会員企業の適正な利潤の確保に向けた活動を進めること等を主体として以下の事項について重点的に取り組む考えである。

- (1) 林野公共工事の実施より国民の安全・安心の確保等に貢献
  - ・ 地域住民の安全・安心の確保と活力ある地域づくりに貢献
- (2) 林野公共事業予算の拡充・確保
  - ・ 林野公共事業予算の拡充・確保に向けた予算要望活動
- (3) 相次ぐ大規模災害被災地の早期復旧・復興に貢献
  - ・ 国有林防災ボランティア活動等自然災害発生時の緊急対応
  - ・ 被災地の応急復旧や本復旧の迅速かつ円滑な実施
- (4) デジタル技術を活用した生産性の向上と業務の効率化の促進
  - ・ ICT技術の導入・促進による林野公共工事の生産性向上
  - ・ 工事に関する提出書類の見直し等による業務の効率化の促進
- (5) カーボンニュートラルの実現等に向けた林道整備に貢献
  - ・ 走行車両の大型化等に対応できる林道改良に貢献
  - ・ 災害の激甚化に対応できる路網の強靱化・長寿命化に貢献
- (6) 「適正な利潤の確保」への取り組みと「働き方改革」等の推進
  - ・ 山間部の厳しい現場条件を踏まえた適正な利潤の確保
  - ・ 働き方改革を踏まえた適正な工期の確保
  - ・ 労働環境の改善等に伴う働きやすい職場づくり
- (7) 労働災害の未然防止、特に重大災害発生ゼロへの取り組み
  - ・ 労働災害防止研修会や現地指導等の実施
- (8) コンプライアンス活動への積極的かつ強力な取り組み
  - ・ コンプライアンス講習会等の実施
  - ・ 社会貢献活動の継続的实施と情報発信
- (9) 調査研究及び資料の収集
  - ・ 「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」の継続
  - ・ 治山・林道事業の役割と効果に関する写真や動画等の資料収集
- (10) 会員相互の連携と交流
  - ・ 技術現地研修会の開催等による会員相互の連携・交流
  - ・ 林土連会報の発行と内容の充実